

令和元年度 活動報告「スタートアップ部門」

団体名 ナゴヤSUP推進協議会

私たちは、SUP（Stand Up Paddle）の普及、活用を通じ、名古屋および周辺での安全な水域利用を促進することを目的とする団体です。名古屋のまちには近づきやすい水辺が少ないと思いませんか？水面も含めてまちを散歩するツールとしてSUPを使い活動しています。

活動名：川も（川面）探検隊

活動の目標について

まち歩きのように、SUPで水面を移動しながら名古屋の川を調べてみたい。天白川を対象に、一般参加者に声をかけ、SUPを使い、水質や水辺へのアクセシビリティ、余暇活動の可能性を調査・考察し、ウェブサイトで公表することを目標にしました。

目標の達成について

本活動の目標は以下のように達成されました。

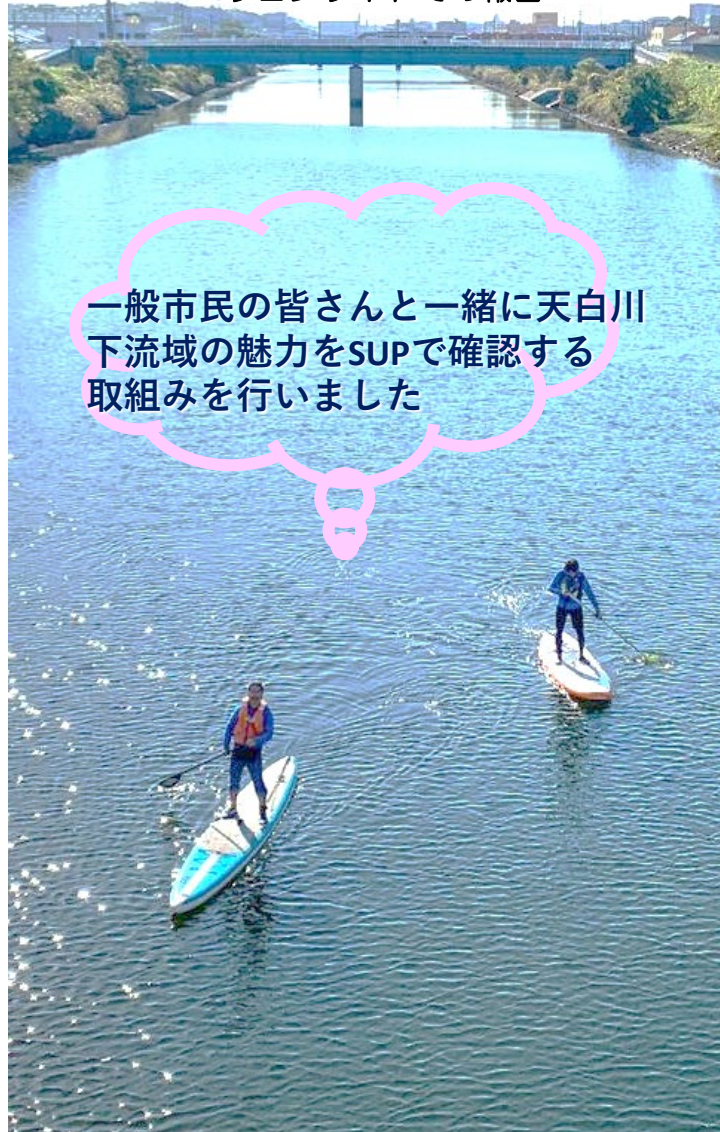
[行事1] 2019年6月、**SUPで水質調査**を実施しました。全国水環境マップ実行委員会が主催する「身近な水環境の一斉調査」の一環です。天白川3地点の水質調査の結果、協議会がこれまでに調査した庄内川下流、荒子川、中川運河、堀川に比べて水質が良い方であることがわかりました。SUPなら、川の中央で簡単に調査が可能ということもわかりました。

[行事2] 2019年11月、「**はじめてさんもしゃいSUP in 天白川 ～天白川下流を楽しもう！水辺の入口を見つけよう～**」を開催しました。参加者は10名でした。SUP班と陸班の2つのグループに分かれ、水上や陸上から、水辺の入口を中心に、階段、公園やトイレ、まちからのアクセス、天候等の留意点について、天白川下流の水辺に親しむために良好だと思ふ点や、改善すべしと思ふ点、アイデアなどを皆さんで確認しました。

[結果の公表] 2020年1月、活動の経緯と結果についてナゴヤSUP推進協議会のFacebookページ上で報告しました。

[今後の課題] 各行事は天候により、当初計画日に実施できませんでした。水上での行事開催は、天気動向の事前確認や、参加者の安全確保のためイベントの中止決定など、厳しい判断が必要なことが多くなります。公開行事等は予備日など余裕を持った設定が必要ということがわかりました。

- 2019.5 下見調査
- 2019.6.16 行事(1) 全国水環境マップ実行委員会が主催する「身近な水環境の一斉調査」の一環として**SUPで水質調査**
- 2019.11.16 行事(2) **はじめてさんもしゃいSUP in 天白川 ～天白川下流を楽しもう！水辺の入口を見つけよう～**
- 2020.1.14 ウェブサイトでの報告



一般市民の皆さんと一緒に天白川下流域の魅力を確認する取組みを行いました

活動の成果

今回の活動を通し以下の成果が得られました。

1) 事前確認事項の整理

SUPで入ったことのない水上へ行くとき、事前に何を調査すべきかメンバーで話し合い、**川の流れや風、護岸構造、水位、アクセス性、所要時間など項目立てて整理**しました。

天候等：周囲に風を遮るものが少ないため風の強い日は注意が必要かもしれません。

水位：河口から野並橋辺りまで感潮域にあり水位が上下します。

近づくやすさ：水面にアクセスするための遊歩道や階段、公共交通機関や駐車場の利用可能性、準備のために利用しやすい公園の立地について確認しました。

所要時間：野並橋—河口間は約10km。星の宮人道橋から柴田駅まで4km≒約1時間です。

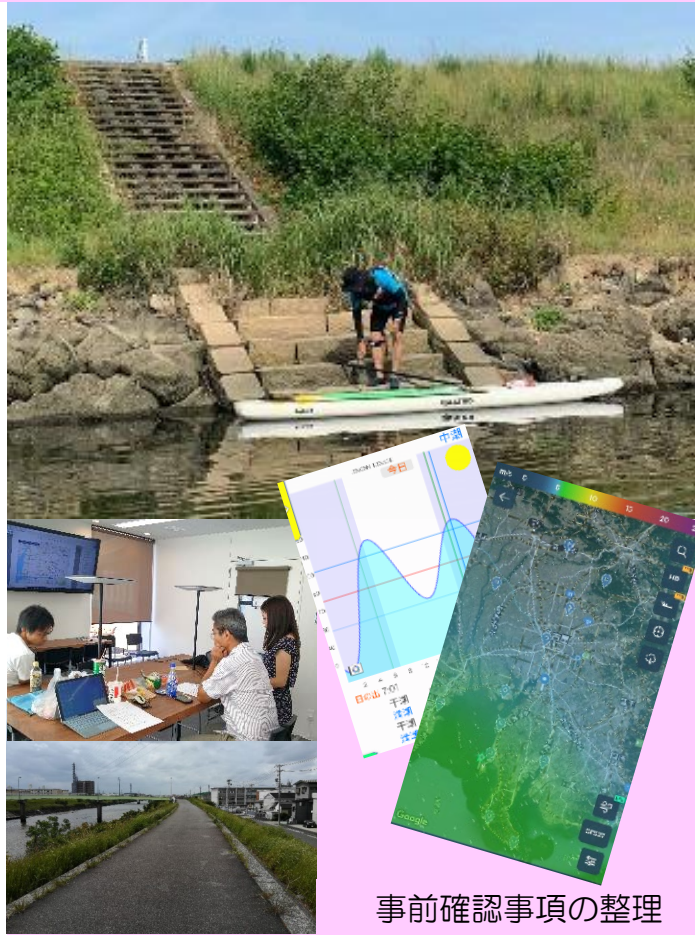
2) 水質調査

水質調査では、天白川下流域の水質が予想外に良い結果だったことに驚きました。**水質調査結果の見える化は川への親しみや入ってみようとする動機につながります。**

3) 水辺へのアクセシビリティ、余暇活動の可能性調査と意見交換

（参加者：女性5名、男性5名 うち30代2名、40代2名、50代2名、60代3名、居住地：名古屋市内、豊明市）SUP班と陸班の2つのグループに分かれ、水上や陸上から、水辺の入口を中心に、階段、公園やトイレ、まちからのアクセス、天候等の留意点について、天白川下流の水辺に親しむために良好だと思う点や、改善すべきと思う点、アイデアなどを皆さんで確認しました。水辺に親しむために良好だと思う点や、改善すべきと思う点、アイデアなどを皆さんで話し合いました。

話題性のあるSUP試乗の機会を提供することにより、参加者が水上に入ることのハードルを下げることができました。SUP試乗とアクセスや周辺環境を観察する行事内容にしたことで、参加者自身が川に近づくためのポイントの探し方を理解し、**次は自分でも降りてみようという行動に近づけた**と思われます。



事前確認事項の整理



凡例 COD：化学的要求酸素量 ●COD2未満 ●COD4未満 ●COD7未満 ●COD7以上 ※国土地理院電子地図を基に作成

令和元年度 活動報告「スタートアップ部門」

団体名 **ナゴヤSUP推進協議会** 活動名：川も（川面）探検隊

（活動の成果つづき）陸上では、自転車・歩行者・釣り・ランニングなど多様な利用が見られました。また近隣公園等の利用状況によって護岸階段の管理状況が異なるようです。SUPする人が増えれば、草刈やゴミ拾いをしようとする人も増えるかもしれません。

参加者は川に下りる体験により、水のきれいさや生物に目を向けることができ、日頃意識することのない市内河川を身近に捉え、**生活と川がつながっていることを認識するきっかけ**になりました。

目標達成のために努力したこと

- ▶ 初心者の皆さんと安全に水上へ入るための下準備について整理することができました。陸上だけでなく参加者が水上に入るためのハードルを下げるための努力をしました。
- ▶ 天候により行事日程が変更となり、参加者を集めることにいつも以上に尽力しました。
- ▶ 着替用のテント、ボードを洗う手動ポンプを導入し、設備の少ない場所での活動の幅が各段に拡がりました。一方で、現在は当団体メンバーの個人ボード等を利用していますが、レンタルや常設のボード置き場、着替えスペース、シャワーなどの環境を、水辺の身近な場所に整えることで、より人々が水上に近づくことが可能になります。

活動で得た学び

SUPを初めて体験する皆さんと一緒に水面から、陸から川面を探検することで、まちと川の新しいたのしみ方を発見することができました。こうした活動を積み重ねる経験は、今後、他の河川や水面にも適用可能と考えられ、**人々を水面に誘導する機会づくりへと展開していく素地固めの機会**となりました。

活動のその後…

Facebookページでの公表内容を見て下さった「天白まちづくりサポータークラブ」さんにお声がけいただき、2020年4月、天白川の川掃除にSUPで参加させていただきました。2019年の活動は、川を通じた様々な団体とつながるきっかけになったと実感しています。



行事(2) はじめてさんもいらっしやいSUP in 天白川～天白川下流を楽しもう！水辺の入口を見つけよう～の開催

